

VI. 琉球大学病院 きこえの支援センター

1. きこえの支援センターの役割 (図22)

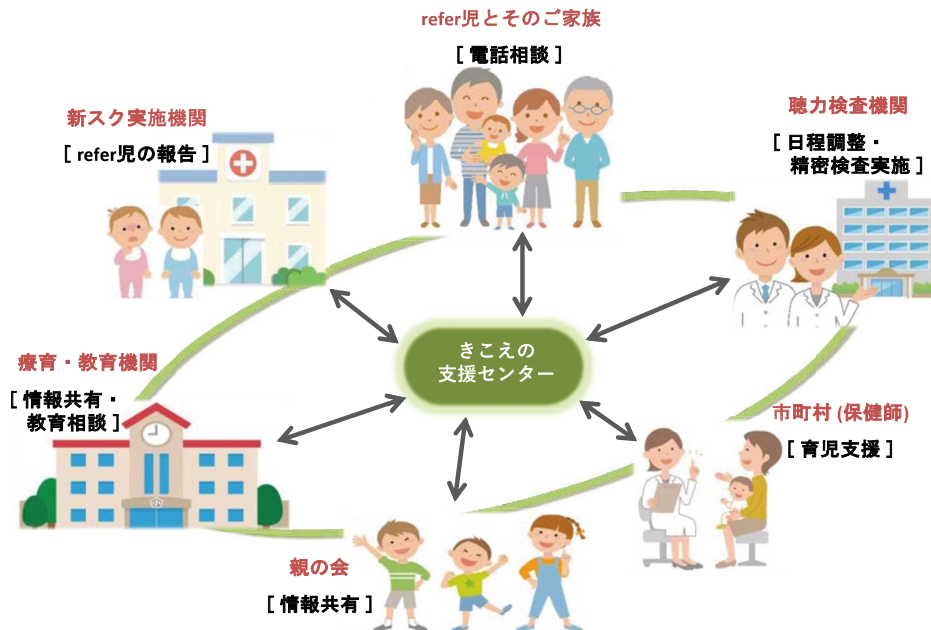
きこえの支援センターは、聴覚障害児（疑いを含む）とその保護者や関係者への支援の拠点として、2020年8月に琉球大学病院に設置しました。早期に適切な検査を行い、保護者の不安軽減とスムーズな療育を開始することができるよう支援しています。

産後間もない時期に「聞こえの精密検査が必要である」と伝えられ、生後数か月で聴覚障害の診断・療育が開始されるため、ご家族の不安は非常に強く、親子の愛着形成にも影響を及ぼす可能性があるため、医療機関だけでなく、他機関と連携を図りつつ、子どもを含めた全家族の支援が大切となります。そのため、拠点となる施設の役割として「きこえの支援センター」を設置しています。

新生児聴覚スクリーニング検査機関（分娩施設）、専門医療機関（耳鼻咽喉科、小児科など）の医療機関だけでなく、市町村、福祉・教育機関、親の会などと連携し、聴覚障害児およびその家族をサポートしていきます。

※「きこえの支援センター」は琉球大学病院に設置されていますが、病院への通院の有無に関係なく、支援を行っていきます。

【図22：きこえの支援センターの役割】



【きこえの支援センター】



所属:琉球大学病院
住所:〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
Tel&Fax:098-895-1739
E-Mail:kikoe-33@kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp
HP:https://kikoe.skr.u-ryukyu.ac.jp/



2. きこえの支援センターの支援内容

- **お子さんのきこえについての相談窓口の設置**
 - 聴覚障害が疑われた家族や関係者からの電話やFax、メールでの問い合わせに、スタッフ（言語聴覚士）が対応します。
- **新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査の日程調整**
 - 受診回数を減らすため、二次聴力検査機関・精密聴力検査機関に連絡し検査の日程調整を行います。
- **乳幼児健診等にて聴覚障害が疑われた乳幼児の精密聴力検査の日程調整**
- **新生児や乳幼児期に聴覚障害が疑われた児のデータベース化**
 - 県内の聴覚障害児の状況を確認し、精密聴力検査が未受検児数や後天性の聴覚障害の割合を把握します。
- **聴覚障害児が通う関係機関へきこえについて訪問説明**
 - スタッフ（言語聴覚士）が関連施設に直接訪問し、子どもきこえの状態や補聴具について説明します。
- **聴覚障害児の家族や関係者向けの研修会の開催**
- **関係機関からの聴力検査についての問い合わせ窓口**
- **refer（要再検）児の居住市町村の母子保健担当課への育児支援依頼**